

昭和シェル石油と出光興産が経営統合を発表 格付には織り込み済み

以下は、昭和シェル石油株式会社（証券コード：5002）と出光興産株式会社（証券コード：5019）が経営統合に関する合意書の締結を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 昭和シェル石油と出光興産は、7月10日に経営統合に関する合意書を締結し、19年4月1日に経営統合を実現することを決定したと公表した。両社は15年7月30日に経営統合に向けての協議を本格化させることを発表している。さらに17年5月以降は経営統合に先立って企業グループを形成し、協働事業を強化・推進してきた。本件は今後の国内外の競争当局および両社の臨時株主総会での承認が前提となっているが、最大の懸案であった出光興産の大株主の合意を得られているもようであり、実現に向けて大きな障害はなくなったと見られる。
- (2) 石油元売業界では、17年4月に旧 JX ホールディングスと旧東燃ゼネラル石油の統合によって国内燃料油販売で約50%のシェアを持つ JXTG グループが誕生した。これが一つの要因となり、業界環境が大きく好転している。本件によって同社に次ぐ国内シェア約30%の企業グループが誕生することとなり、業界秩序がさらに改善されるものと考えられる。また、両社はこれまで競争力の強化に向けて協業を進めてきたが、経営統合によってさらなるシナジー効果の拡大を実現できるものと想定される。
- (3) 現在の両社の格付はそれぞれの事業基盤や財務基盤をベースに評価しているが、JCR では両社が経営統合に向けて様々な取り組みを進めていることについて格付に織り込んできた。本件によって直ちに格付を見直すことは考えていない。今後、18年10月を目途に締結予定の株式交換契約の内容や財務面への影響について確認していく。また、18年12月を目途に開催予定の両社の臨時株主総会までに公表される予定である経営統合後の中期経営計画の内容に注目していく。

（担当）千種 裕之・水川 雅義

【参考】

発行体：昭和シェル石油株式会社

長期発行体格付：A 見通し：安定的

発行体：出光興産株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル